

ペプチドリーム株式会社  
<https://www.peptidream.com/>  
(証券コード：4587 東証プライム市場)

## Claudin18.2 を標的とするがん放射性医薬品候補 <sup>64</sup>Cu-PD-29875 の胃がん患者を対象とした 特定臨床研究における初回投与実施のお知らせ

- ・ 当社は、胃がんまたは食道胃接合部がん患者さんを対象とした **<sup>64</sup>Cu-PD-29875** の特定臨床研究において、初回投与を実施しました
- ・ 本研究では、PET イメージングを通じて、安全性、体内動態および腫瘍集積性を評価します
- ・ 本研究により、**<sup>64</sup>Cu-PD-29875** の診断薬としての可能性に加え、治療用放射性医薬品への展開可能性に関する知見の取得を目指します

ペプチドリーム株式会社（代表取締役社長：リード・パトリック、本社：神奈川県川崎市、以下「当社」）は、Claudin18.2（以下「CLDN18.2」）を標的とするがん放射性医薬品候補 <sup>64</sup>Cu-PD-29875 を用いた特定臨床研究（以下「本特定臨床研究」）において、最初の被験者への投与を実施しましたので、お知らせいたします。

本特定臨床研究は、<sup>64</sup>Cu-PD-29875 のファースト・イン・ヒューマン試験<sup>\*1</sup> であり、胃がんまたは食道胃接合部がん患者さんを対象に、PET/CTイメージングを用いて安全性、体内動態および腫瘍集積性を評価するものです。あわせて、診断薬としての可能性に加え、ラジオセラノスティクス<sup>\*2</sup> によるアプローチとして、治療用放射性医薬品への展開可能性に関する初期的知見の取得を企図しています。

CLDN18.2 はクローディングファミリーに属するタンパク質であり、正常組織では主として胃上皮細胞に発現する一方、胃がん、食道がん、すい臓がん、肺腺がん等で高発現が報告されていることから、診断・治療の両面で有望な標的分子として注目されています。

PD-29875 は、当社独自のPDPS<sup>®</sup> (Peptide Discovery Platform System) 技術を活用して創製された環状ペプチドであり、子会社であるPDRファーマで実施したin vivoイメージング<sup>\*3</sup> および薬効試験の結果を踏まえ、当社で最適化を進めてきた開発候補品です。

本研究においてPD-29875 を診断用放射性核種である<sup>64</sup>Cuで標識し、PETイメージングデータを取得することで、診断的有用性に関する情報に加え、治療用同位体標識体への展開可能性を検討するための基礎的知見を取得できるものと考えています。これらの結果は、今後の臨床開発の加速に資することが期待されます。

ペプチドリーム代表取締役社長 CEO である リード・パトリックは次のように述べています。

「PD-29875 について、初回投与の実施に至ったことは、卓越したラジオセラノスティクス  
の基盤を確立するという我々のビジョンの実現に向けた重要な進展です。当社の二つ目となる  
自社放射性医薬品プログラムである PD-29875 は、がん領域で期待される CLDN18.2 を標的と  
する環状ペプチドであり、当社の強力なペプチド創薬エンジンから創出されました。統合的な  
ラジオセラノスティクス戦略の一環として<sup>225</sup>Ac で標識した治療薬と<sup>64</sup>Cu で標識した診断薬の  
両面から開発を進め、がん患者さんに次世代の放射性医薬品を届けるという当社のミッション  
を加速してまいりたいと思います。」

なお、PD-29875 の開発は、2024 年に日本医療研究開発機構 (AMED) の「革新的がん医療  
実用化研究事業」に採択され、研究助成を受けて推進しています。

### 胃がん・食道胃接合部がんについて

胃がんは、2020 年の全世界のがん患者数において 5 番目に多く、がんによる死因において 4 番目に多いことが知られており、全世界でがんと診断される患者さんの約 7%を占めています。また、5 年生存率は 32%と予後の悪いがんとしても知られています。2020 年には全世界で約 110 万人の患者さんが胃がんと診断され、77 万人の方が亡くなりました。また、患者数は 2040 年までに 180 万人に増加すると予想されています。食道胃接合部がんは、食道と胃の接合部に発生するがんで、近年増加傾向にあります。胃がんと同様にCLDN18.2 の発現が認められています。

\*1：ファースト・イン・ヒューマン試験

人に対する投与が初めてとなる試験を「ファースト・イン・ヒューマン試験」と呼びます。

### \*2 : セラノスティクス

ペプチド等の同一薬剤をベースに、診断に使用される核種と治療に使用される核種を使い分けることで、治療と診断の両方を一体的に行う医療アプローチを指しています。セラノスティクスにより、がんの診断と治療を一体的に行うことが可能となり、治療が有効である可能性の高い患者さんの効果的な選定や、治療効果を随時把握することが可能になる等のメリットが期待されています。

### \*3 : in vivoイメージング

放射性核種やその他の方法で標識した化合物を投与し、体内での挙動を観察することを指します。例えば、in vivoイメージング技術を用いることで、薬剤を投与した際に体内にどのように分布し、代謝・排泄されるか等の情報を視覚的に得ることができます。

## ペプチドリームについて

ペプチドリーム株式会社（東証プライム市場 証券コード 4587）は、特殊環状ペプチドから新たな革新的医薬品を産み出すことで、アンメット・メディカル・ニーズに応え、世界中の人々の生活の質を向上させることを目指しています。放射性医薬品（RI）領域において、完全子会社であるPDRファーマを通じて日本で放射性医薬品の販売を行っています。また、独自の創薬開発プラットフォームであるPDPS (Peptide Discovery Platform System)技術を活用し、革新的な放射性治療薬や放射性診断薬を創製し、自社または提携プログラムとして開発しています。Non-RI 領域においては、PDPS を活用したペプチド医薬品、ペプチド-薬物複合体（PDC）および多機能ペプチド複合体（MPC）による治療薬・診断薬への展開を共同研究開発パートナーによる広範囲なグローバル・ネットワークを構築し、幅広く進めております。ペプチドリームの本社の所在地は川崎市です。当社や当社技術、パイプラインについての詳細については、<https://www.peptidream.com> をご覧ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

ペプチドリーム IR 広報 沖本

TEL : 044-223-6612

Email : [info@peptidream.com](mailto:info@peptidream.com)

ウェブサイト : <https://www.peptidream.com/>

X: [https://x.com/PeptiDream\\_Inc](https://x.com/PeptiDream_Inc)